

## 令和3年度 認定介護福祉士養成研修〔1期〕開催要綱

### 1. 目的

認定介護福祉士は、居住・施設系サービスを問わず多様な利用者・生活環境、サービス提供形態等に対応して、より質の高い介護実践や介護サービスマネジメント、介護と医療との連携強化、地域包括ケア等に対応するための考え方や知識、技術等を習得します。

本研修は、介護福祉士の資格取得後も継続的な教育機会を提供し、介護福祉士の資質の向上を図り、社会的要請などに応えていくことを目的に作られた介護福祉士のキャリアアップのための仕組みです。

当会はこの目的に沿って「一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構」に認証された本研修を開催します。

### 2. 主催 一般社団法人北海道介護福祉士会

### 3. 期間 令和4年3月～令和6年2月までの全22科目 42日間（11領域・別掲）

### 4. 開催形式 Zoomによるオンライン学習。当会HPにアップしている受講の手引きをご覧ください、よく理解したうえでお申し込みください。

### 5. 受講要件〔認定介護福祉士研修認証基準第2条（3）〕

次のアからウのいずれをも満たしていること。

ア：介護福祉士資格取得後の実務経験5年以上

（実務経験の考え方は介護福祉士国家試験の受験資格に準ずる）

イ：介護職員を対象とした現任研修の受講歴として、100時間以上の履歴を有していること。注1

ウ：研修実施団体の課すレポート課題又は受講試験において一定水準の成績を修めていること。ただし、機構の定める研修を修了している場合は免除する。注2

※ レポート課題又は受講試験の実施は「認定介護福祉士概論」を受講する際に、実施する研修団体において実施する。

注1：〔介護職員を対象とした現任研修 100時間以上の受講歴とは〕

- ・「各自治体」「全国・各都道府県・市町村社会福祉協議会」「介護保険法（障害者総合支援法）に定められる施設及び事業所の職域団体」「各都道府県介護福祉士会」が主催する介護職員を対象にした研修とする。（「認知症介護実践リーダー研修」「介護教員講習会」修了者含む）
- ・上記が主催する介護職員を対象にした研修の受講歴は、研修開催要綱（受講時間が分かるもの）と修了証の写しを受講申込時に添付する。

※「介護保険法（障害者総合支援法）に定められる施設及び事業所の職域団体」とは、「老人福祉施設協議会」「北海道デイサービスセンター協議会」「北海道ホームヘルプサービス協議会」「全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会」「北海道グループホーム協会」「北海道知的障がい者福祉施設協議会」「北海道身体障がい者福祉施設協議会」など。

注2：〔機構の定める研修とは〕以下のいずれかの研修を修了していること

- ・小規模チームのリーダー養成を目的とした介護福祉士ファーストステップ研修ガイドライン～研修の企画、展開の指針（平成21年3月全国社会福祉協議会）の内容を満たす介護福祉士ファーストステップ研修
- ・認知症介護研究・研修センターの実施する認知症介護指導者養成研修
- ・群馬県の実施するぐんま認定介護福祉士養成研修

6. 受講定員 15 名（予定）

※ 受講決定者にはメールにてご連絡いたします。

※ 受講者決定には北海道介護福祉士会会員を優先することがありますので、ご承知おきください。

※ 申込者が 12 名に満たない場合は非開講といたします。非開講の場合は、全額返金致します。

7. 受講料

1 講義（1 日）：会員 8,000 円 非会員 16,000 円

8. 支払い方法

・ 受講決定者には、メールで送信します「受講決定通知書」にて振込先をお知らせいたしますので、期日までにお振り込み下さい。

※納入方法については開催科目の日数ごとの徴収となります。（2 日であれば 16,000 円：会員）

・ 振込手数料は、受講希望者にてご負担下さい。

・ お振込み後、受講のキャンセルはできかねますので、ご了承下さい。

・ 介護福祉士会会員の方は、研修受講券使用対象研修です。

9. 受講申し込み

・ QR コードを読み取り、専用フォームからお申込みください。

・ 「科目 2-1 疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I」以降についての開講日時・詳細についてのご案内はその都度 HP、LINE でお知らせいたします。

・ 受講料のお振込みをもってお申込といたします。



10. 修了について（下記①～④の全てを満たす必要があります。）

① 全課程の出席を要する。

② 講師の認めるやむを得ない事情による遅刻、早退については合計 30 分（遅刻、早退の合計）を上限として認める。（レポート課題あり）30 分を越えた場合は修了不可とする。

③ 修了評価として行う筆記試験（50 問程度）において、A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）であること。D 評価（59 点以下）の場合は再試験を行う。尚、再試験は複数回とし科目ごとに設定される。

④ 事前及び事後課題については、A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）であること。（事前・事後課題は科目毎に設定される。）

※③と④は科目毎に設定されます。

※尚、認定介護福祉士の認定申請に必要な単位取得に期限はありません。

11. 備考

・ 本研修は、「生涯研修制度」のポイント対象になっております。

・ 90 分 1 ポイントを科目ごとに付与いたします。

・ 個人情報の取扱いにつきましては、本研修のみの使用とさせていただきます。

・ 受講決定者には「認定介護福祉士養成研修 受講の手引き」を事前にダウンロードしていただき内容の確認をお願いいたします。

・ 1 科目修了毎に、修了証を発行いたします。

12. 認定介護福祉士養成研修に関する問い合わせ先

一般社団法人北海道介護福祉士会 [認定介護福祉士養成研修担当窓口]

TEL：080 - 9714 - 0751・FAX：0154 - 65 - 1339 メールアドレス hokkaido.nintei.cw@gmail.com

（受付時間：毎週月～金 10 時～17 時 担当：酒井）→左記時間以外は留守番電話にご伝言をお願い致します。

※お急ぎの場合を除き、できるだけメールでのお問い合わせをお願いいたします。

13. 研修プログラム

【22 科目 11 領域全日程 42 日間】

※日程について変更する場合があります。

	領域	日程	日数	科目名	単位	講師名
I 類	1 認定介護福祉士養成研修導入	4年 3月19日(土)	1日	1-1 認定介護福祉士概論	1	京都女子大学 教授 太田貞司 氏
	2 医療に関する領域	4年 5月 4年 5月	2日	2-1 疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅰ	2	日本ヒューマンヘルスケア 研究所 中村裕子 氏
		4年 6月 4年 6月	2日	2-2 疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅱ	2	日本大学文理学部社会福祉 学科 特任教授 上之園佳子 氏
	3 リハビリテーションに関する領域	4年 7月	1日	3-1 生活支援のための運動学	2	日本医療大学リハビリテー ション学科 作業療法学専攻長 教授 大堀具視 氏
		4年 7月	1日	3-2 生活支援のためのリハビリテーションの知識		
		4年 8月 4年 8月	2日	3-3 自立に向けた生活をするための支援の実践	2	
	4 福祉用具と住環境に関する領域	4年 9月 4年 9月 4年 10月 4年 10月	2日	4-1 福祉用具と住環境（福祉用具）	2	株式会社シーティング 研究所 代表取締役 一般財団法人日本車椅子 シーティング財団 代表理事 木之瀬 隆 氏
			2日	4-2 福祉用具と住環境（住環境）		
	5 認知症に関する領域	4年 11月 4年 11月	2日	5 認知症のある人への生活支援・連携	2	調整中
	6 心理・社会的支援の領域	4年 12月 4年 12月	2日	6-1 心理的支援の知識・技術	2	調整中
		5年 1月 5年 1月	2日	6-2 地域生活の継続と家族支援	2	実践ソーシャルワーク塾 塾長 菊池健志 氏
	7 生活支援・介護過程に関する領域	5年 2月 5年 2月 5年 3月	3日	7-1 認定介護福祉士としての介護実践の視点	2	元東洋大学大学院福祉社会 デザイン研究科ヒューマン デザイン専攻教授
		5年 3月 5年 4月 5年 4月	3日	7-2 個別援助計画作成と記録の演習	2	社会福祉法人本庄ひまわり 福祉会 常務理事兼総合施設長
5年 4月		1日	7-3 自職場事例を用いた演習	1	本名 靖 氏	
I 類合計	26日間			22		
II 類	8 マネジメントに関する領域	5年7月	1日	8-1 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理	1	(株)ナレッジ・マネジメン ト・ケア研究所(KMCI) 宮崎民雄 氏
		5年7月 5年 8月	2日	8-2 チームマネジメント	2	実践ソーシャルワーク塾 塾長 菊池健志 氏
		5年 9月 5年 9月	2日	8-3 介護業務の標準化と質の管理	2	
		5年 10月	1日	8-4 法令理解と組織運営	1	調整中
		5年 10月	1日	8-5 介護分野の人材育成と学習支援	1	実践ソーシャルワーク塾 塾長 菊池健志 氏
	2 医療に関する領域	5年 5月 5年 5月	2日	2-3 疾患・障害のある人への生活支援・連携Ⅲ	2	日本大学文理学部社会福祉 学科 特任教授 上之園佳子 氏
	6 心理・社会的支援の領域	5年 6月 5年 6月	2日	6-3 地域に対するプログラムの企画	2	調整中
	9 自立に向けた介護実践の指導領域	5年 11月 5年 11月	2日	9-1 応用的生活支援の展開と指導	2	元東洋大学大学院福祉社会 デザイン研究科ヒューマン デザイン専攻教授 社会福祉法人本庄ひまわり 福祉会 常務理事兼総合施設長 本名 靖 氏
5年 12月 5年 12月 6年 1月		3日	9-2 地域における介護実践の展開	2		
II 類合計	16日間			15		